

# 石川県生協連だより

**第101号**

石川県生活協同組合連合会  
 〒920-0362 金沢市古府2-189  
 コープいしかわ古府センター2F  
 TEL076-259-5962 FAX076-259-5963  
 http://ishikenren.jp

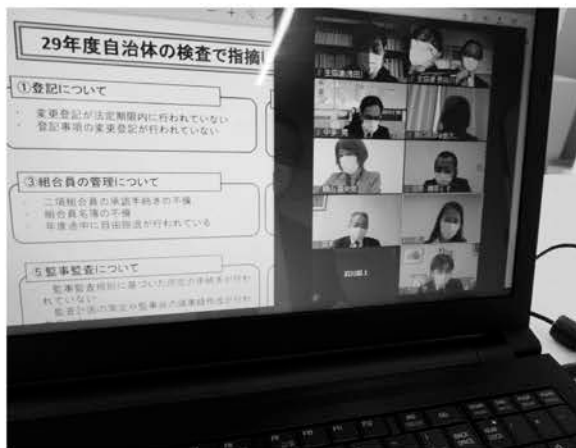
発行日/2021年3月25日  
 発行責任者/長谷川 隆史



開会挨拶をする長谷川会長理事

生協からは「新型コロナウイルス感染症拡大の影響及び対応」について、コープいしかわ総合企画部 佐々木智一マネジャー、コープ北陸 檜原弘樹専務理事、石川県学校生協中多晃専務理事、金沢大学生協坂口辰彦専務理事、金沢医療生協柴原ひろみ専務理事、勤労者共済生協鶴山香央里課長が、それぞれ資料をもとに報告しました。

新型コロナウイルス感染症拡大の事業への影響、組合員や役職



オンラインによる懇談会の様子

石川県生協連では、石川県との懇談会を通して各種施策への意見反映、連携を進めることを目的に、毎年懇談会を開催しています。

今年度は、生活安全課から越田修孝課

長はじめ3名、環境政策課から1名、生協から県連役員及び会員生協職員11名が参加し、オンラインで開催しました。

生活安全課 山口泰子専門員より、指導検査での主な指摘事項、事業運営に係る留意事項について、環境政策課 末林真紀課長補佐からは2019年度に見直しされた「石川県環境総合計画」について説明がありました。

員の安全を最優先とした感染防止対策、また今後の対応について理解を深めていただき、環境問題も含め、安心して暮らせる地域づくりに向けて、行政や会員生協間の連携を進めることができました。

(生協連 加藤 喜美子)

**2020年度 行政との懇談会を開催**

●開催日時 2021年1月29日(金) 13時30分～15時30分  
 ●オンラインによる懇談会



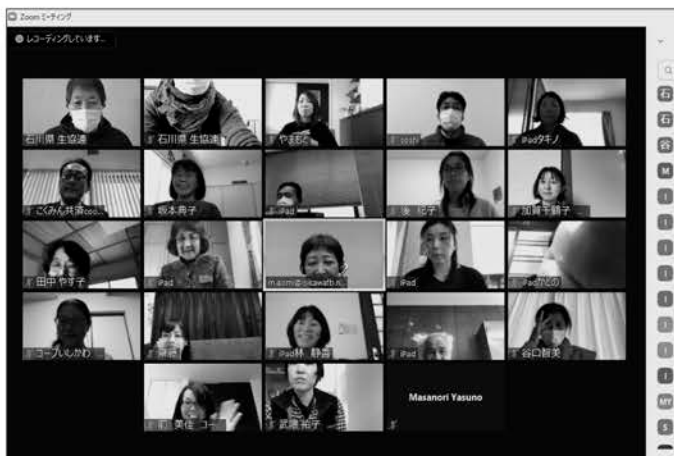
生協連 第1回役員研修会開催

〜フードバンク・フードドライブの仕組みについて〜

2021年1月20日(水) ●オンライン研修

NPO法人いしかわフードバンク・ネット理事の青海万里子氏を講師に、「フードバンク・フードドライブのしくみとコロナ禍における影響、及び生協に期待すること」をテーマに研修会を開催しました。

青海氏が生協連専務理事の時にフードバンクの活動を知り、始める



オンラインによる研修会の様子

きっかけになったことや、フードバンクの設立(2019年3月)から現在までの活動や課題について話していただきました。

第1回役員研修会に参加して

「食品ロス」で頭に浮かんだのは、「食べられるのに捨てられる食品」ではなく、「知らないうちに食べられなくなってしまう食品」でした。

家庭では私のようなケースが多いのではないのでしょうか。フードバンク・ドライブの現状を知り、知識だけではなく、まずはその輪の中へ自分が入ってみることが必要と感じました。「食」からつながる先を体験し、自分事から地域へと思いが馳せられるよう、この活動の想いを身近にしていけたらと思います。

(コープいしかわ  
常任理事 安部 友美)

生協連 第2回役員研修会開催

〜コロナ禍における避難所運営について〜

2021年2月3日(水) ●オンライン研修



講師の李 仁鉄 氏

NPO法人にいがたボランティアネットワーク理事長李 仁鉄氏を講師に、「コロナ禍における避難所運営の実態及び平常時から生協に期待する役割について」をテーマに研修会を開催しました。

時間の経過とともに変わってくる支援活動やミニワークの事例検討を通して、被災者が生活する場である避難所運営について学習しました。

第2回役員研修会に参加して

研修講師の李理事長より、市民生活に密着した生協ならではの被災者の声なきニーズを汲み取れる力や、他者への警戒心から沈黙した被災者でも、生協に対しては声を発してくれるであろう市民からの信頼感に期待の言葉をいただきました。

日常化する自然災害に対し、発災時・後はもとより、備えとして何が行えるのか、大変多くの気づきを与えていただきました。

生協の一員として役割発揮の領域を拡げられるよう努力してまいります。

(石川県勤労者共済生協  
専務理事 宮澤 裕二)



研修会テキスト「さすけなぶる」

# 会員生協紹介



## 石川県学校生協 睡眠講話を開催

学校生協では、近年社会の環境変化に伴い子ども睡眠が低下していることで、学校側からの要望が多い睡眠の学習会を開催しました。

学校生協の指定店である東洋羽毛にご協力を頂き、「睡眠健康指導士」という外部の資格を取得した専任の社員の方が依頼

いただいた学校へ訪問し、子どもたちとその保護者が参加する睡眠講話を県内3校の小中学校で実施しました。

講話の自身は、小学校では30分・中学校では40分〜50分ほど時間を頂き、スクリーンを利用して睡眠に関するイラストを映しながら話を進めていきます。

子どもたちが飽きない様に、抑揚をつけテンポよく話しクイズなどを挟んで、聞くだけでなくとも楽しく分かりやすい、参加型の講話になっています。

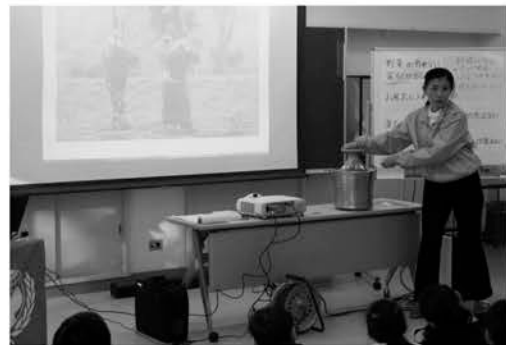
この睡眠講話は子どもたちとその保護者が一緒に講話を聞く事で、スマホの使用などで乱れがちな大事な睡眠のメリットを家族で共有し、家庭内で話し合いができるようになることで行動の変化が起き、良い眠りが取れるようになるのが目的です。

コロナ禍の中、事前申し込みを受けていて開催を断念した学校も数校ありましたが、今後もウイルス対策を万全にして、組合員の要望に応える活動を充実できるようにとめていきます。

(学校生協 野口 秀雄)

# 石川県ユニセフ協会の活動

子どもたちの笑顔のために、活動ボランティア



ネパールの水がめを使った学習会

石川県内において、ユニセフ(国連児童基金)の広報や募金活動を目的に設立して9年目に入りました。県連・会員生協からも役員にご就任いただき感謝申し上げます。

ユニセフは、開発途上国や紛争・災害地の子どもたちだけではなく、世界中すべての子どもたちの支援活動をしています。

「子どもの権利」を守り、個々が持つて生まれた能力を十分に発揮できる機会を広げるために活動している機関であり、もちろんそこには先進国の子どもも含まれています。

募集中!

当協会では、ユニセフの活動や募金の使われ方などを知っていただくために、学習会やパネル展などを開催しています。

学習会は、学校だけではなく一般の方からの依頼も受けていますので、ぜひお声を掛けてください。

思うように活動できないコロナ禍、インターネットを利用したオンライン募金や、動画配信での活動も少しずつ始めています。



石川県ユニセフ協会  
ボランティア応募フォーム

(石川県ユニセフ協会)

事務局長 染川 孝子

## 県生協連活動日誌

- 1
- 1月5日・6日  
連合石川・労福協合同「2021新春の集い」  
▶ANAクラウンプラザホテル金沢
  - 1月8日  
第4回理事会▶Web会議
  - 1月12日  
いしかわフードバンク・ネット運営委員会  
▶フレンドパーク石川
  - 1月14日  
全国方針検討集会▶Web会議
  - 1月16日  
第2回広報委員会▶Web会議
  - 1月20日  
フードバンクフォーラム▶石川県地場産業振興センター
  - 1月20日  
第3回石川県消費者大会実行委員会▶石川県女性センター
  - 1月20日  
第1回役職員研修会▶Web研修会
  - 1月28日  
金沢市食の安全・安心委員会▶金沢市保健所
  - 1月29日  
関西地連第4回運営委員会、第4回県連活動推進会議  
▶Web会議
  - 1月29日  
いしかわの都市計画検討専門会議▶石川県庁会議室
  - 1月30日  
生協連行政懇談会▶Web懇談会
  - 1月30日  
第6回消費者支援ネットワークいしかわ理事会  
▶石川県女性センター
- 2
- 2月3日  
第4回三役会▶Web会議
  - 2月3日  
第2回役職員研修会▶Web研修会
  - 2月15日  
第4回消費者支援ネットワークいしかわ消費者部会  
▶石川県女性センター
  - 2月17日  
県域ラウンドテーブルブロック別説明会▶Web会議
  - 2月19日  
石川県食品安全安心対策懇話会  
▶石川県庁会議室、オンライン参加
  - 2月24日  
消費者団体と北陸農政局との意見交換会  
▶北陸農政局金沢広坂合同庁舎
  - 2月26日  
労福協第6回理事会▶フレンドパーク石川
  - 2月26日  
令和2年度「食育ネットほくりく」交流会▶オンライン参加
- 3
- 3月3日  
第5回理事会▶Web会議
  - 3月10日  
第3回非常用通信機器訓練
  - 3月12日  
第3回役職員研修会▶Web研修会
  - 3月16日  
第4回企画運営委員会▶Web会議
  - 3月30日  
2021年東海北陸地区・総会議案検討会議▶Web会議

## 私のおススメの一冊



## 昭和史

- ◆著者：半藤一利  
平凡社ライブラリー
- ◆定価：本体900円(税別)

2021年1月12日に半藤一利さんが他界されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

半藤さんは、徹底した取材や証言をもとにしたノンフィクション作家であり、ご自身も東京大空襲の際、命を落としかけるといふ体験をされています。

「日本の一番長い日」や「ノモンハンの夏」など、多数の著書を執筆されていますが、その中から「昭和史」を紹介します。

昭和史は1926年(昭和元年)から1945年(昭和20年)までの、天皇と軍部(政権中枢)の関係を中心に書かれています。昭和初期といえば満州事変、盧溝橋事件(日中戦争)、太平洋戦争と戦争につぐ戦争の時代であり、国内でも「五・一五事件」「二・二六事件」など不穏な空気が漂います。

なぜ戦争に至ったのか、どのようなプロセスを得て決定されたのか、正しく判断されたものだったのか。

かつて、ダグラス・マッカーサーは「近代文明の尺度で計ると、我々が45歳であるのに対し、日本人は12歳の子供のようなものだ」と言いました。

半藤さん曰く「歴史に何も学ばなかった。今も学ぼうとしていない」日本人は戦後75年の時を得て何歳になった?今と昔では決定プロセスが違う?色々と考えさせられる一冊です。

コープ北陸事業連合 森田 満

## 編集後記

## 【100号からの第1歩】

101号では、コロナ禍で開催が遅れておりましたが、第1回、第2回のオンラインでの役職員研修会の様子を紹介することができました。

これまでは、「同じ時間・同じ場所」での開催の「カタチ」でしたが、これからは、「同じ時間・違う場所」「好きな時間・自宅で」「好きな時間・オンライン上で」など多様な参加の「カタチ」が求められてきます。

新たな参加と協働をより豊かにするために、デジタルも活用しながら、会員生協、地域の諸団体の皆さんとのコミュニケーションを広げていきたいと思います。

専務理事 浅田 晋一